**目次**

セクション 1: MCT および MCLC 認定の特典 2

セクション 2: MCT の認定を受ける方法 6

セクション 3: MCT の指導分野 8

セクション 4: 2008 MCT プログラム要件 9

セクション 5: MCLC の認定を受ける方法 12

セクション 6: MCT および MCLC 認定資格の状態 14

セクション 7: MODL 実施許可の申請 15

セクション 8: MCT 認定資格の回復 15

別添 1: 定義 16

マイクロソフト認定
トレーナーおよび

マイクロソフト認定
ラーニング コンサルタント

プログラム ガイド 2008

## セクション 1: マイクロソフト認定トレーナー (MCT) およびマイクロソフト認定ラーニング コンサルタント (MCLC) 認定の特典

マイクロソフトでは、マイクロソフトのテクノロジを用いた技術的知識と指導力を保有、維持し、今日の学習環境で IT (情報技術) 分野の専門家向けにそのスキルを活用するプロフェッショナル トレーナーおよびラーニング コンサルタントの資格を認定しています。

マイクロソフト認定トレーナーの資格は、受講者、トレーニング プロバイダ、および組織が、マイクロソフトのテクノロジや製品に関するトレーニングを提供できる熟練したプロフェッショナルを判別する際の目安になります。MCT の資格認定を受けたトレーナーはその業務における競争上の優位性を確保し、今日の技術トレーニング業界に不可欠な人材となります。

マイクロソフト認定ラーニング コンサルタントの資格は、組織やトレーニング プロバイダが、マイクロソフトのテクノロジや製品に基づくコンサルティング的なラーニング ソリューションを設計、開発、および実施できる熟練したプロフェッショナルを判別する際の目安になり
ます。

MCLC の資格を取得するためには、事前に MCT 認定資格を取得したうえで、本書に詳述される要件を満たす必要があります。つまり、MCLC に適用されると明記されていない限り、MCLC には MCT に関するすべての言及が適用されます。

業界での認知度に加えて、マイクロソフトでは、MCT と MCLC に有用なリソースを提供し、優れた技術指導のプロフェッショナルとなるための支援を行っています。認定を受けると、次に挙げる項目を含め、多くの特典を受けることができます。

* **ラーニング ソリューションに関するマイクロソフト認定パートナーにおけるオフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトおよびマイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクトを用いたマイクロソフト コース指導に関する実施権 :** MCT はトレーニング プロセスで重要な役割を果たすので、マイクロソフトでは、マイクロソフト認定パートナーを通じたマイクロソフト コースの実施を MCT だけに認めています。
* **すべてのオフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトおよびマイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクト用のトレーナー キットのインターネット利用 :** (マイクロソフト オフィシャル コース、マイクロソフト オフィシャル ワークショップ、マイクロソフト オフィシャル セミナー、マイクロソフト オフィシャル クリニックを含みますが、それに限定されません)マイクロソフト ラーニング プロダクトのポートフォリオについては、<http://www.microsoft.com/learning/training/default.mspx> を参照してください。

### トレーナー キットは、MCT ダウンロード センターからダウンロードできます。新たなコンテンツも順次追加されます。

* **テキストの購入によるすべてのマイクロソフト オフィシャル アカデミック コースのインストラクタ リソースへのインターネット アクセス** : リソースは、マイクロソフトの学術研究関連の出版元である John Wiley & Sons (http://www.wiley.com/college/microsoft) がホストしている MOAC ホームページから利用できます。
* **マイクロソフト ラーニング e ラーニングのライブラリへの無制限アクセス** (北米と EMEA のみ)
* オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトおよびマイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクト用のトレーナー キット フル パッケージの取得権、ならびに一定のオンライン バーチャル ラボへのアクセス : MCT は、トレーナー キットをお近くのサービス センターおよびオンライン バーチャル ラボから低価格で購入できます。e-ラーニング コースは、[マイクロソフト e ラーニング](https://www.microsoftelearning.com/) (<https://www.microsoftelearning.com>) から取得することができます。
* **マイクロソフト認定資格の試験料の割引 :** 認定試験料が 125 米国ドル以上に相当する国の MCT は、MCP および マイクロソフト ダイナミクス認定資格の試験料について、45% の割引を受けられます。既に試験料が 125 米国ドル相当額以下の国では、割引率は 20% です。さらに、試験のリリース後 90 日以内に受験すると追加割引が適用され、合計で最大 65% の割引となります。具体的な規則や制限については、MCT の特典に関するページ ([<http://www.microsoft.com/learning/mcp/mct/benefits.mspx>)](http://www.microsoft.com/learning/mcp/mct/benefits.mspx%29) を参照してください。
* **ベータ試験の受験資格 :** MCT には、ベータ MCP 試験の早期受験に関する通知が届きます。試験実施要綱は MCT ニュースグループに掲示されます。
* **Microsoft Press が発行する書籍の割引 :** MCTは、最寄りのサービス センターで Microsoft Press 発行の書籍を最高 50％ の割引率で購入することができます。
* Microsoft TechNet Plus の割引 : MCT は、TechNet Plus の年間購読について 20% の割引を受けられます。TechNet Plus は IT プロフェッショナル向けの技術リソース コレクションの決定版であり、現在はフル バージョンのマイクロソフト ソフトウェアも評価目的限定で提供しています。IT プロフェッショナルが技術的な問題の解決、マイクロソフトのテクノロジの評価や検討、および技術スキルの強化を図るうえで拠り所となる総合的なリソース セットとなっています。(一部の国では利用できない場合があります)
* Visual Studio Professional + MSDN Premium の契約料割引 : MCSD on Microsoft .NET または MCPD 認定資格を保有する MCT は、Visual Studio Professional と MSDN Premium の両方に契約する場合、50% の割引を受けられます。MSDN Premium に契約すると、幅広いアプリケーションや Web サービスの構築に必要な開発ツールとテクノロジに、継続的かつ優先的にアクセスできます。(一部の国では利用できない場合があります)
* オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトおよびマイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクト用バーチャル ハードディスク画像 : MCT には、仮想コンピュータ対応のラーニング プロダクトの指導に必要な基本画像が含まれた DVD 一式が提供されます。[注 : MCT は付属するライセンス条項に従ってバーチャル ハードディスク画像を使用する必要があります。]
* コースウェアのサポート : 質問用、またはオフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトおよびマイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクトの各コンポーネントに関する問題の連絡用として、MCT には特別な電子メール アドレスが与えられます。このサポート サービスは、教室のセットアップ、演習、コンテンツ、およびコースウェア教材などに関する問題の解決に役立ちます。このサービスは世界中で利用できますが、対応している言語は英語のみです。
* MCT メンバ専用サイトの利用、および月刊ニュースレター MCT Flash の購読 : MCT メンバ専用サイトと MCT Flash では、MCT および MCLC プログラム情報だけでなく、Microsoft の資格とコースウェアに関する情報、トレーナー向けイベント、および特別プロモーションについて、最新の情報を提供します。
* **MCT Town Hall** : MCT Town Hall は、熟練の講師が担当する MCT 専用のトレーナー養成ライブ セッションにアクセスできる Web サイトです。MCT には年間 2 枚のバウチャーが支給され、1 枚につき 1 回、MCT Town Hall セッションに参加することができます。バウチャーはいつでも追加購入できます。さらに、バウチャーなしで参加できるマイクロソフト主催の無料イベントも年間を通して予定されています。
* **MCT Radio** : MCT Radio は MCT Town Hall をホストとするアーカイブで、トレーナー養成イベントの記録、コミュニティ プレゼンテーションなど、MCT にとって興味深いコンテンツが保管されています。MCT が自分自身のプレゼンテーションをアップロードして独自の "ショー" を主催することも奨励しています。MCTは、MCT Radio のすべてのコンテンツを無料で利用できます。
* **Microsoft Learning Nexus** : ラーニング ソリューション パートナーおよびマイクロソフトとのビジネス機会を提供する Web ツールです。Microsoft Learning Nexus を使用すると、トレーニングの実施、コンテンツの作成、イベントへの参加などの機会を検索できます。MCT コミュニティ向けの特典の提供 : MCT には多くの製品やサービスが無料または割引価格で提供されます。これらの特典については、MCT Welcome Kit の MCT 2008 Special Offers Guide および MCT メンバ専用サイトを参照してください。
* インターネット上の MCT および MCLC ニュースグループ : このニュースグループにより、ほかの MCT やマイクロソフトとの間でトレーニングに関するヒントや技術を共有したり情報を交換したりすることができます。
* 地域または全国規模で開催されるマイクロソフトのイベントへの招待および割引 : 地域および国際的な準備イベントやコミュニティ イベントが含まれます。これらのイベントに参加すると、最新のマイクロソフト テクノロジ、マイクロソフト コース、およびプログラムの情報を取得することができます。
* マイクロソフト認定トレーナーおよびマイクロソフト認定ラーニング コンサルタントのロゴ : ラーニング ソリューションのマイクロソフト認定パートナー (以下「**ラーニング ソリューション パートナー**」) やその他の正規カスタマー、受講者に対し、MCT ロゴ、MCLC ロゴ、およびその他のマテリアルにより、認定資格を示すことができます。

特典を検索する方法については、[MCT の特典に関する Web サイト](https://www.microsoft.com/learning/mcp/mct/benefits.mspx) (<https://www.microsoft.com/learning/mcp/mct/benefits.mspx>) を参照してください。

## セクション 2: MCT の認定を受ける方法

MCT 資格を取得するためには、次の要件を満たす必要があります。

1. マイクロソフト認定プロフェッショナル (「MCP」) またはマイクロソフト認定ビジネス マネジメント ソリューションズ プロフェッショナルの認定の取得
2. 指導におけるプレゼンテーション スキルの証明
3. Metrics that Matter ID の取得
4. MCT となるための申込みと年間費用の支払い

認定資格の要件について不明な点がある場合は、最寄の<http://www.microsoft.com/learning/support/worldsites.asp> (<https://www.microsoft.com/learning/support/worldsites.mspx>) にお問い合わせください。

ステップ 1: 適切な
条件を満たすマイクロソフト認定資格の取得

マイクロソフト認定トレーナー資格を申請する前に、MCP または MCT プログラムの[マイクロソフト ダイナミクス](http://www.microsoft.com/learning/mcp/mct/guide/MBS_qualifiers.mspx)認定資格を取得する必要があります。資格の一覧については、[「Acquire a Valid Microsoft Certification」](http://www.microsoft.com/learning/mcp/mct/guide/one.mspx)Web サイト (<http://www.microsoft.com/learning/mcp/mct/guide/one.mspx>) (英語)を参照してください

これらの資格は、MCT が技術的な基礎知識と職務能力を持っていることを確認するために必要です。マイクロソフトの認定資格を取得することにより、その資格に関連する分野や職務について、マイクロソフトの製品やテクノロジに熟練していることを示すことができます。MCTは、保持している認定資格に対応したマイクロソフト コースに限り指導することができます (セクション3: MCTの指導分野を参照)。

ステップ 2: 指導におけるプレゼンテーション スキルの証明

以下は、北米地域で MCT の資格認定を受ける場合の要件です。北米以外の地域で MCT の資格認定を受ける場合は、以下のいずれかの要件を満たしているか、各地域での代替要件を満たしている必要があります。代替要件については、最寄りの[サービス センター](http://www.microsoft.com/traincert/support/worldsites.asp) (「RSC」) (<https://www.microsoft.com/learning/support/worldsites.mspx>) にお問い合わせください。

指導におけるプレゼンテーション スキルを有していることを示すために、以下のいずれかの要件を満たしている必要があります (MCT 申込書にどの要件を満たしているのか明記してください)。

* CompTIA のCertified Technical Trainer (CTT+) 資格の証明書を取得します。
* マイクロソフトの認可を受けたトレーニング プロバイダ、または [CompTIA Learning Alliance (CLA) Program](http://www.comptia.org/cla) のメンバであるトレーニング プロバイダが実施する指導プレゼンテーション スキル コースまたはトレーナー養成コースを受講および修了します。
[認可を受けたトレーニング プロバイダ](http://www.microsoft.com/Learning/mcp/mct/guide/two.mspx)は <http://www.microsoft.com/Learning/mcp/mct/guide/two.mspx> で検索できます。
* 次のいずれかのベンダの認定インストラクタの資格認定書を提出します。
	+ - Cisco Systems
		- Citrix
		- Novell
		- Oracle
* 正式認定教育機関において雇用されていることの証明を提出し
ます。

ステップ 3: Metrics that Matter (MTM) ID の取得または識別

マイクロソフトでは、Metrics that Matter (以下「**MTM**」) というプログラムを利用して、継続的な認定資格要件を適用しています。マイクロソフト認定トレーナーとして登録するためには、[MTM アカウント](http://www.knowledgeadvisors.com/newmctinmtm/) (以下「**MTM ID**」) を取得する必要があります (<http://www.metricsthatmatter.com/NewMCTInMTM/EnrollMCT.aspx>)。すでに MTM を使用している場合は、現在ご使用の MTM ID を使用できます。MCT 登録ツールで登録するときには、MTM ID の入力が必要です。詳細についてはセクション 4 を参照してください。

MCT 登録ツールは [MCP メンバ専用サイト](https://mcp.microsoft.com/mcp/enrollment/enrollment.aspx)
(<https://mcp.microsoft.com/mcp/enrollment/enrollment.aspx>) から入手できます。オンライン申込書に記入し、プログラムの年間費用を支払い、MCT 登録ツールで指定されているアドレスに送信する必要があります。

ステップ 4: 申込みと年間費用の支払い

費用は国によって異なります。詳細については、<http://www.microsoft.com/learning/mcp/mct/guide/fees/default.mspx> (英語) にあるオンラインの価格表を参照してください。

適切な RSC により所要の書類が処理されるには少なくとも 2 週間かかります。申込書が受理されると、電子メールで通知が送付されます。Welcome Kit が MCT に届き、MCT メンバ専用サイトへのアクセスが認められます。

## セクション 3: MCT の指導分野

MCT プログラムは、幅広い受講者を対象とした各種 Microsoft テクノロジの指導を対象としています。特定の受講生に適したプログラムを構成するために、MCT は、それぞれの MCT が保有する認定資格に基づき一または二以上の指導分野を割り当てられています。

すべての指導分野については、[「Acquire a Valid Microsoft Certification」](http://www.microsoft.com/learning/mcp/mct/guide/one.mspx)Web サイト (<http://www.microsoft.com/learning/mcp/mct/guide/one.mspx>) (英語) にある[指導分野ドキュメント](http://www.microsoft.com/learning/mcp/mct/guide/one.mspx)を参照してください。

マイクロソフト コースの実施制限

MCT が行う公開トレーニングは、それらの指導分野に関連するマイクロソフト コースの指導に限定されます。各指導分野に関連するマイクロソフト コースのリストは、[マイクロソフト コース](https://mcp.microsoft.com/mct/program/competencies.mspx) (<https://mcp.microsoft.com/mct/program/competencies.mspx>) から入手できます。MCT 証明書には、MCT の指導分野のほか、MCT が指導資格を有するマイクロソフト コースが明記されます。

オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトまたはマイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクトを使用した公開のオープン登録トレーニングは、ラーニング ソリューション パートナーまたはマイクロソフト IT アカデミーのために、ラーニング ソリューション パートナー先、マイクロソフト IT アカデミー内またはオンラインでのみ実施できます。MCT は、ラーニング ソリューション パートナー先もしくはその顧客先において、またはマイクロソフト認定パートナー先、その顧客先、その他の教室においてマイクロソフト認定パートナーを通じて、オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトまたはマイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクトを使用した非公開トレーニングを実施できます。ただし、それらの場所のハードウェアが指導の対象となるマイクロソフト コースに対応するトレーナー キットのハードウェア要件を満たしている必要があります。MCT は、マイクロソフト コースェアに添付される EULA の諸条件を遵守しなければなりません。

指導分野が複数の
場合

MCT は、複数の指導分野に登録することができますが、登録する各指導分野に必要とされるすべての資格を保有していなければなりません。マイクロソフト コースによっては、トレーニングの実施に際し MCT が複数の指導分野に登録していることが要求されます (前記「マイクロソフト コースの実施制限」を参照してください)。

## セクション 4: 2008 MCT プログラム要件

マイクロソフトでは、MCT をマイクロソフトのソフトウェア、テクノロジおよびラーニング プロダクトに精通しているプロフェッショナルとして位置付けており、その地位の向上に努めています。MCT は学習プロセスにおいて重要な役割を果たすので、MCT が最高水準のトレーニングを IT の専門家や開発者に提供するために必要なレベルの指導技術を発揮することが重要です。このような理由から、MCT プログラムの要件として、MCT がプログラム年度を通じて高い顧客満足度と最低レベルのトレーニング活動を維持することを求めています。

2008 プログラム年度は、それぞれ 3 か月単位のプログラムで構成されます。

* 第 1 四半期 : 2008 年 4 月 1日～ 2008 年 6 月 30 日
* 第 2 四半期 : 2008 年 7 月 1日～ 2008 年 9 月 30 日
* 第 3 四半期 : 2008 年 10 月 1日～ 2008 年 12 月 31 日
* 第 4 四半期 : 2009 年 1 月 1日～ 2009 年 3 月 31 日

資格要件を満たしていることの証明書の提出手続を簡素化するために、マイクロソフトは、MCT 認定資格の判定に際し Metrics that Matter (「MTM」) プログラムにより提出を受けた情報を使用します。MTM プログラムに関するさらに詳細な情報は、<http://www.knowledgeadvisors.com> から入手することができます。

DSAT を 10% 以下に

維持すること

3 か月ごとに MTM プログラムから通知される顧客満足度の「不満足」 (Dissatisfied) (DSAT) (9 段階評価で 1 点から 4 点) は 10% 以下でなければなりません。連続する 2 四半期の DSAT が両方とも 10% を超えている場合は、MCT 認定資格が停止されます。

MTM レポートは、マイクロソフトに自動的に最新情報が通知されます。プログラム年度中随時、マイクロソフトは、レポートの整合性と完全性を保証するために、点検・監査を実施します。

MCT としての資格を維持するには、MCT の資格取得後の最初の 1 年間に、一定の会場 (ラーニング ソリューション パートナー、IT アカデミー、顧客の施設など) で、マイクロソフト コースに従ったコースを最低 1 回は実施する必要があります。この要件を満たしているかどうかは、Metrics that Matter プログラムにより受理･記録される受講生評価により判定されます。

次のマイクロソフト コースが認定されています。

* オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクト (マイクロソフト オフィシャル コース、マイクロソフト オフィシャル ワークショップ、マイクロソフト オフィシャル セミナー、マイクロソフト オフィシャル クリニックを含み、さらに教室でのトレーニングとオンライン トレーニングの両方を含みます)
* マイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクト
* オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトもしくはマイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクトの少なくとも半分、またはオフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトの 3 モジュール (いずれか少ないほう) で構成されるカスタム コース
* マイクロソフト IT アカデミーまたはその他の認定教育機関で実施されるマイクロソフト オフィシャル アカデミック カリキュラム (MOAC) またはマイクロソフト アカデミック ラーニング シリーズ (ALS) のコース

監査・確認

マイクロソフトでは、MCT が上記の要件を満たしているかどうか 3 か月ごとに確認を行います。マイクロソフトは、MTM プログラムから提供されるデータを用いて、MCT がプログラム要件を満たしているかどうかを判定します。プログラム要件を満たしていないと、資格認定が取り消されることがあります。

マイクロソフトは、毎年監査を実施し、MCT が MCT プログラム要件を満たしていることを確認します。マイクロソフト コースの実施に関する記録をファイルとして保管しておいてください。これらの適合証明は、更新申込書に記入した項目と一致していなければなりません。監査に関して連絡を受けたときは、こうした要件を満たしていることの証明書を提出する義務があります。

監査対象となる候補者は、無作為に抽出します。ただし、下記の条件の一または二以上を満たしていると、監査対象に選ばれる機会が多くなります。

* 顧客満足度評価平均が全 MCT の上位 4 分の 1 に入っている場合。
* 顧客満足度評価平均が、連続するプログラム四半期の間に著しく変動した場合。
* (地域的な通常値からみて) MTM 評価の不均衡な数値が、受講生ではなく、MCT 本人またはラーニング ソリューション パートナー管理者により入力された場合。
* (地域的な通常値からみて) MTM 評価の不均衡な数値が匿名の
場合。

証明書が意図的に改変されたものであると監査者が判断した場合や、トレーナーが適合証明を示すことができない場合、認定は取り消されます。不適合の程度により、永久に認定が取り消されることもあります。MCT 資格認定要件をこのように厳格に適用する目的は、MCT プログラムの要件を遵守している多くの MCT のために、MCT の認定資格の価値を保護することにあります。

MCT 認定資格の喪失

MCT の認定資格は、契約書に記載される事由に加え、以下に該当する場合にも取り消されることがあります。

* 受講者用のコース教材を本来の形態で使用せずにマイクロソフト コースを指導する (たとえば、受講者やトレーナーの教材をコピーして使用する)。
* 関連するマイクロソフト コースウェアを使用せずにマイクロソフト コースを指導する。
* 関連するマイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクトを使用せずにマイクロソフト ダイナミクス コースを指導する。
* MCT プログラムの要件で、虚偽の申告をする。
* MTM 評価を偽る。
* MCP やマイクロソフト ダイナミクスの試験で不正行為をした場合、または MCP や マイクロソフト ダイナミクスの試験で他者が不正行為をするのを助ける。この場合、MCP 認定資格を永久に失うことになります。
* MCT および MCLC 申込書で署名した条件に違反した方法で MCT ロゴまたは MCLC ロゴを使用する。
* Microsoft またはラーニング ソリューション パートナー、IT アカデミー、またはマイクロソフト認定パートナーを称する者として職業的、倫理的にふさわしくない。
* トレーニング マテリアルに添付されている製品使用権説明書 (EULA) に適合しない方法でトレーニング マテリアルを使用する。
* 資格認定を受けていないマイクロソフト コースを指導する。

## セクション 5: MCLC の認定を受ける方法

MCLC 資格を取得するためには、次の要件を満たす必要があります。

1. MCT 認定資格を取得します。
2. コンサルティング的なラーニング ソリューション スキルを証明するケース スタディを提出します。
3. ケース スタディで記述されている顧客による証明を提出します。

MCLC 認定資格の要件について不明な点がある場合は、<http://www.microsoft.com/learning/support/worldsites.mspx> (英語) に示されている最寄りの[サービス センター](http://www.microsoft.com/learning/support/worldsites.asp)にお問い合わせください。

ステップ 1: マイクロソフト認定トレーナー認定資格の取得

MCLC 認定資格を取得するにあたっては、MCT 認定資格を保有している必要があります。認定資格の最低保有期間は定めていませんが、コンサルティング的なラーニング ソリューションの設計、開発、および実施について経験がない場合、MCLC 申込書は審査されません。

**ステップ 2: コンサルティング的なラ**ーニング **ソリューションのケース スタディの提出**

コンサルティング的なラーニング ソリューションの設計、開発、および実施について経験があることを示すために、必要な能力を発揮しながら自らが主要なコンサルティング的役割を果たした、過去 2 年以内に完了したプロジェクトについて説明するケース スタディを提出する必要があります。これらの能力の詳細については、MCLC 申込書のセクション H を参照してください。

ケース スタディの形式と要件の詳しい説明が記載されている MCLC 申込書は MCT メンバ専用サイトでダウンロードできます。この形式を使用していないケース スタディは、提出しても、審査または処理されません。

MCLC 申込書とケース スタディは年間を通じていつでも受け付けています。

MCLC 認定の承認プロセスの一部として、MCLC 審査会による、マイクロソフト認定ラーニング コンサルタント候補者のケース スタディの審査、評価、および承認があります。マイクロソフトは、提出された MCLC 申込書または MCT 記録に記載されている、個人を特定できる情報を審査会に提供しません (これらの情報がケース スタディに記載されている場合は除きます)。マイクロソフトまたはその下請業者は申込書と証明を審査しますが、MCLC 審査会による MCLC 申込書の評価には、ケース スタディに提示された情報しか使用されません。ケース スタディには、個人を特定できるような情報 (自分の氏名、顧客の会社名、またはこれを特定できる情報、プロジェクト名、または顧客の担当者氏名など) を含めないでください。ケース スタディに個人を特定できる情報が含まれている場合、MCLC 申込書は不適格とみなされます。

ケース スタディの正確さを検証できるよう、ケース スタディの内容とその中で果たした自分の役割の正確さを証明する MCLC 証明フォーム (以下「**証明**」) を、ケース スタディで記述された顧客の代表者による署名を付して提出する必要があります。証明のテンプレートは MCT メンバ専用サイトでダウンロードできます。このテンプレートを使用していない証明は、提出しても審査または処理されません。

**ステップ 3: 顧客による証明の提**出

顧客のレターヘッドに記載された証明は、ファックスで最寄りの[サービス センター](http://www.microsoft.com/learning/support/worldsites.mspx) (<http://www.microsoft.com/learning/support/worldsites.mspx>) に提出できます。

承認と通知

MCLC 申込書と証明の両方の受領が確認されると、MCLC 審査会がケース スタディを審査します (匿名性を確保するため、証明は審査会に提出されません)。MCLC 審査会によるケース スタディの審査と評価が完了すると、電子メールで次のいずれかの通知が届きます (ファイルにある電子メール アドレス宛てに送信されます)。

* **認定通知**は、提出されたすべてのケース スタディの審査が完了したときに、合格者全員に送付されます。マイクロソフトでは、これらの通知を MCLC 申込書の受領から 90 日以内に送付することを目標としています。
* **不備の通知**は、申込書の予備審査で不完全な部分が見つかった場合、必要な関係書類がすべてそろっていない場合、関係書類に矛盾するまたは不完全な情報がある場合に、担当の RSC から各人にすぐに送付されます。電子メールによる通知には、申込書のどの部分に見直しが必要か、および申込書の再提出時に何を含める必要があるのかが記載されます。この場合、RSC が追加情報を受け取るまで、申込書は MCLC 審査会に送付されま
せん。
* **不備の通知**は、ケース スタディの 1 つまたは複数の必要能力のセクションについて追加的な補強証拠が必要であると MCLC 審査会が考える場合、個別に送付されます。MCLC 審査会がケース スタディに欠けていると考える能力が記載された MCLC 申込書ステータス フォームが不備の通知とともに送付されます。この場合は、不備があるとして印が付けられたこのフォームの該当するセクションに記入して、申込書とともに再提出する必要があります。

## セクション 6: MCT および MCLC 認定資格の状態

MCT 認定資格の更新

MCT プログラムは、個人を対象とした年間プログラムです。現在 MCT でない個人は、プログラム年度中いつでもプログラムへの参加を開始できます。MCT 資格を有する個人は、更新期間 (2008 年 4月 1 日から 2008 年 4月 30 日まで) 中にMCT 認定資格を更新することができます。その期間中に MCT 資格を更新しなかった場合でも、プログラム年度中の後日に MCT プログラムに再登録することができます。ただし、この場合、証明書には認定資格の中断期間が明記されます。

MCLC 認定資格の更新

MCLC 認定資格の更新は、MCT 認定資格の更新を申し込むときに同時に申し込むことができます。MCLC 認定資格を維持するためには、次の要件を満たす必要があります。

1. 前回のケース スタディの承認日より 2 年以内に新しいケース スタディを提出する必要があります。
2. MCT 認定資格の更新時に MCLC の条項および条件を受諾して、毎年 MCLC プログラムへの参加を再表明する必要があります。

新しいケース スタディを提出しなかった場合、または MCLC プログラムへの参加を再表明しなかった場合は、MCLC としての認定資格が取り消されます。ただし、MCT 認定資格が有効に更新されている場合、MCT 認定資格は維持されます。

強制による資格停止

何らかの理由により資格を失った MCT (前記セクション 4 を参照) は、資格停止後 1 年間は MCT プログラムに再登録できません。理由の重大性如何によっては、MCTプログラムに再登録することは永久にできません。

## セクション 7: マイクロソフト オフィシャル ディスタンス ラーニング (“MODL”) 実施許可の申請

MODL の経験は従来の教室でのトレーニングの経験とは異なるため、MODL コースを指導するには MODL 実施許可プロセスを完了する必要があります。このプロセスには、4 つの Microsoft Live Meeting セッションへの参加またはセッション記録の視聴、および認定インストラクタが実施する MODL コースの閲覧が含まれます。最終段階では、ディスタンス ラーニングのファシリテーション スキルを示すために、ライブでオンラインのティーチバックを実施し、それを提出して MODL 実施許可の審査担当者による審査、評価および採点を受けます。

MODL 実施許可プロセスは、次の 3 段階で構成されます。

1. [MCT Town Hall](http://mct.llift.com/) (<http://mct.llift.com>) で、4 つの Live Meeting セッションへの参加またはセッション記録の視聴を行います。
2. 実際のクラスを指導する認定インストラクタが実施する MODL コース モジュールを閲覧するか、実際に参加します。
3. 非営利環境でティーチバックを実施して提出します。

詳細については、MCT メンバ専用サイトの MODL ページ (<https://mcp.microsoft.com/mct/modl/authorization/Default.mspx>) を参照してください。

## セクション 8: MCT 認定資格の回復

毎年指定される更新期間中に MCT の資格を更新しないと、認定資格が取り消されます。つまり、MCT としての特典を受けられなくなり、オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトまたはマイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクトを使用したトレーニングを提供するための認定資格がなくなります。ただし、いつでも資格の回復を申請できます。

MCT の資格を回復するには、MCT メンバ専用サイトからアクセスできる MCT 登録ツールを使用して申請する必要があります。回復後に、証明書には MCT の資格中断期間が記載されますが、MCT の資格の開始日が変更されることはありません。MCLC 認定資格も保有していた場合で、最も最近に承認されたケース スタディが回復の日からさかのぼって 2 年以内である場合は、MCLC 認定資格も回復されます。

## 別添 1: 定義

本別添 1 または MCT および MCLC プログラム ガイドに定義されていない用語はすべて、Microsoft (または当該契約に明示の別法人) と各 MCT および MCLC との間で締結されなければならないマイクロソフト認定トレーナーおよびマイクロソフト認定ラーニング コンサルタント契約書 (以下「**MCT/MCLC 契約**」) において各用語に付与される意味を有するものとします。

**正式認定教育機関**とは、アメリカ合衆国とカナダにおいては以下をいいます。

* 国または地域の認定機関 (一般に一定の地位を有するとされるもの) により認定された高等教育機関。以下は、こうした認定機関として認められています。
	+ - * Accrediting Commission of Career Schools and Colleges of Technology
			* Accrediting Council for Independent Colleges and Schools
			* Commission of the Council on Occupational Education
			* Accrediting Council for Continuing Education and Training
			* American Association of Educational Service Agencies
			* Bureau of Private Post-Secondary and Vocational Education
			* Middle States Association of Colleges and Schools
			* New England Association of Schools and Colleges
			* North Central Association of Colleges and Schools
			* Northwest Association of Schools and Colleges
			* Southern Association of Colleges and Schools
			* Western Association of Schools and Colleges
* 州が認定する中等教育機関。

American Association of Educational Services Agencies に所属する機関もまた、正式認定教育機関としての条件を満たしています。カナダでは、各州政府から公立学校または私立職業専門学校の地位を付与されていることの証明書を提出しなければなりません。

アメリカ合衆国とカナダ以外については、各地域の認定機関の詳細について最寄りのサービス センターにお尋ねください。

**指導分野**とは、MCT が特定の能力に対応する Microsoft の資格を取得することにより熟練していることを実証した職務またはテクノロジを明記した MCT の区分制度をいいます。

**Metrics that Matter (MTM)** とは、顧客満足度データの収集、集計および報告に関して、Microsoft と協力して、Knowledge AdvisorsTM が実施するプログラムをいいます。

**Microsoft 正規カスタマー**には、ラーニング ソリューションのマイクロソフト認定パートナー (ラーニング ソリューション パートナー)、マイクロソフト認定パートナー、マイクロソフト IT アカデミー プログラム (IT アカデミー) の機関、および/またはマイクロソフトの書面による認可を受けたその他の法人があります。

**ラーニング ソリューション パートナー**は、IT プロフェッショナルを対象としたマイクロソフト コースの指導について認定を受けたトレーニング実施企業です。これらの企業は、マイクロソフト認定パートナーでもあり、マイクロソフト ラーニング プロダクトやマイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクトのための適切なハードウェア、トレーナー、および指導環境など、ラーニング ソリューションの適格性を得るために必要な所定の条件を満たしています。

**マイクロソフト認定パートナー**とは独立した企業であり、さまざまな専門性やベンダー協力関係を有する企業が含まれています。ラーニング ソリューション資格を取得していないマイクロソフト認定パートナーは、オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトおよびマイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクトを取得できますが、ただし、それらのマイクロソフト認定パートナーによるトレーニングは、大規模なカスタマ ソリューションまたはそれらの社内スタッフを対象としたトレーニングの一部とする場合において非公開のトレーニングを実施することに限られます。かかるマイクロソフト認定パートナーはラーニング ソリューション パートナーと同じ要件の全部を満たしている必要はありませんが、オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトまたはマイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクトを使用した公開トレーニングの広告を行い、またはそうしたトレーニングを提供することはできません。

**マイクロソフト IT アカデミープログラム** (**IT アカデミー**) には、その教育機関に在籍している学生を対象としたマイクロソフト コース (週 12 時間以内) の実施許可を受けた認定教育機関があります。

**プログラム年度**とは、2008 年 4 月 1 日から 2009 年 3 月 31 日までの MCT 2008 プログラム年度です。この期間内にすべての MCT プログラム要件を満たす必要があります。